

2023年3月期 決算説明会資料

2023年5月24日

JAMCO Vision 2030

技術と品質を翼に、快適で持続可能な未来へ

航空業界を基軸に培ってきた技術と品質を、先端技術とイノベーションにより進化させながら更なる事業領域の拡大を目指し、航空宇宙産業を通じた価値創造企業グループとして、快適で持続可能な社会へ貢献し続ける。

Always Fly Together with transforming our business by engineering evolution for a sustainable world

- この資料に掲載されている情報のうち歴史的事実以外のものは、発表時点で入手可能な情報に基づく当社の経営陣の判断による将来に関する見通しであり、経済動向、為替レート、市場需要、税制や諸制度に関するさまざまなリスクや不確実な要素を含んでおります。実際の業績はこれらの見通しとは異なる結果があり得ることをご承知おきください。
- この資料における数値について、記載金額は、表示桁未満を切捨てしており、増減率(%)は、表示桁未満を四捨五入して作成、表示しております。
- 本資料を(株)ジャムコの許可無く転載・複製することを禁じます。又、本資料を使用することにより生じたいかなる損害について(株)ジャムコは一切責任を負いません。

Contents

SECTION

1

2023年3月期 決算の状況

- 04 | グループ連結P/L
- 05 | 連結経常利益の前期比差異要因
- 06 | 連結経常利益の計画比差異要因
- 07 | セグメント別 売上高・経常利益-①(前期比/計画比)
- 08 | セグメント別 売上高・経常利益-②(前期比)
- 09 | セグメント別 売上高・経常利益-③(計画比)
- 10 | グループ連結B/S
- 11 | グループ連結C/F
- 12 | グループ各社の状況

SECTION

2

2023年度中期経営計画及び 当社のサステナビリティへの取組

- 14 | 2023年度中期経営計画策定の前提
- 15 | 2023年度中期経営計画
- 16 | 業績見通しについて
- 17 | 経営環境
- 18 | 事業別見通し(航空機内装品 セグメント)
- 19 | 事業別見通し(航空機シート セグメント)
- 20 | 事業別見通し(航空機器製造 セグメント)
- 21 | 事業別見通し(航空機整備 セグメント)
- 22 | 中期経営指標
- 23 | サステナビリティへの取組-①
- 24 | サステナビリティへの取組-②
- 25 | サステナビリティへの取組-③

2023年3月期 決算の状況

- 04 | グループ連結P/L
- 05 | 連結経常利益の前期比差異要因
- 06 | 連結経常利益の計画比差異要因
- 07 | セグメント別 売上高・経常利益-①(前期比/計画比)
- 08 | セグメント別 売上高・経常利益-②(前期比)
- 09 | セグメント別 売上高・経常利益-③(計画比)
- 10 | グループ連結B/S
- 11 | グループ連結C/F
- 12 | グループ各社の状況

SECTION

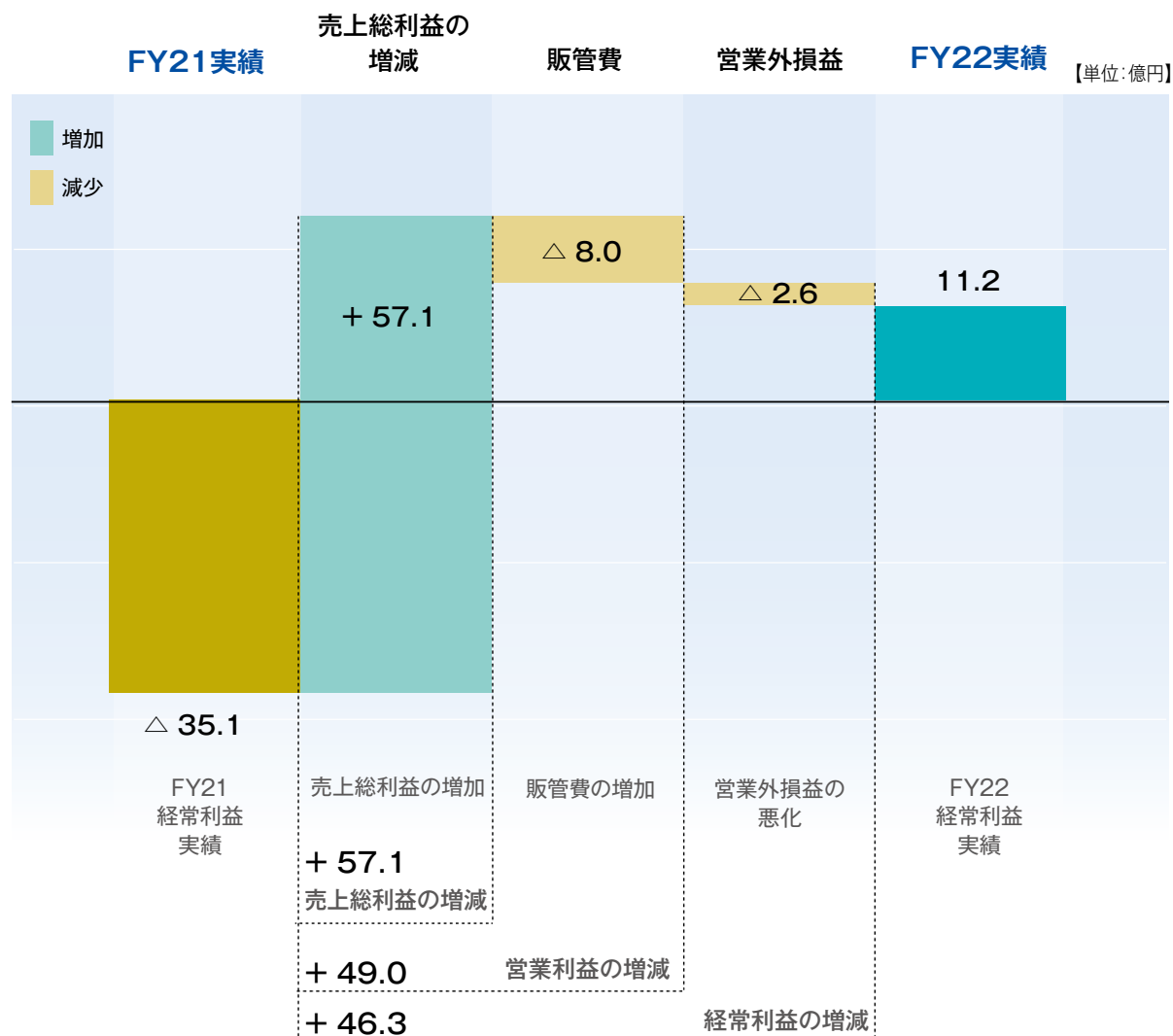
1

【単位:百万円】

	FY21 (実績)	FY22 (計画)	FY22 (実績)	前期比 (増減)	計画比 (増減)
売上高	39,078	49,800	47,225	8,146	△ 2,574
売上総利益	4,358	11,712	10,072	5,714	△ 1,639
販管費	7,533	8,931	8,339	805	△ 592
営業利益	△ 3,174	2,780	1,733	4,908	△ 1,046
営業外損益	△ 337	△ 920	△ 606	△ 269	313
経常利益	△ 3,512	1,860	1,127	4,639	△ 732
特別損益	530	407	467	△ 63	59
税金等調整前当期純利益	△ 2,981	2,268	1,594	4,575	△ 673
親会社株主に帰属する 当期純利益	△ 4,081	2,160	2,174	6,255	14
1株当たり当期純利益 (円)	△ 152.15	80.52	81.05	—	—
売上為替レート (円/USドル)	111.14	130.75	135.08	—	—

(注)計画とは、2022年11月8日の決算発表時の業績予想数値です

■ 前期比 +46.3億円



Point

■ 売上総利益

- 運航機数増加によるスペアパーツ販売の増加及び円安による収益増加

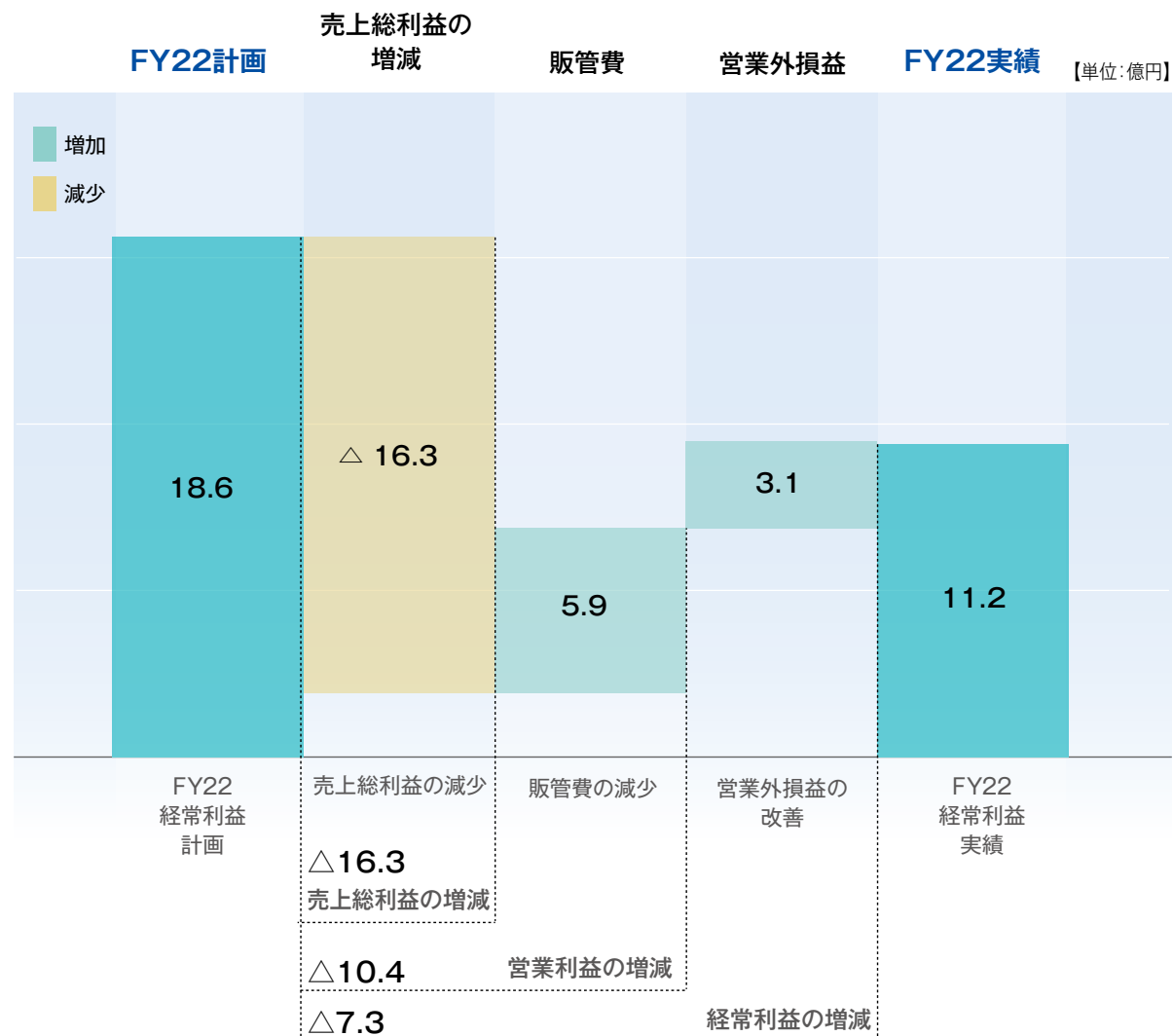
■ 販管費

- 販売手数料の増加 △6.0億円
- 人件費の増加 △4.9億円
- 試験研究費の減少 +2.2億円
- その他 +0.7億円

■ 営業外損益

- 支払利息の増加 △6.2億円
- 為替差益の増加 +4.1億円
- その他 △0.5億円

■ 計画比 △7.3億円



Point

売上総利益

- 売上高の減少に加え、一部調達品の価格上昇などにより減少

販管費

- 試験研究費の減少 +1.6億円
- 人件費の減少 +1.6億円
- その他 +2.7億円

営業外損益

- 為替差益の増加 +2.3億円
- その他 +0.8億円

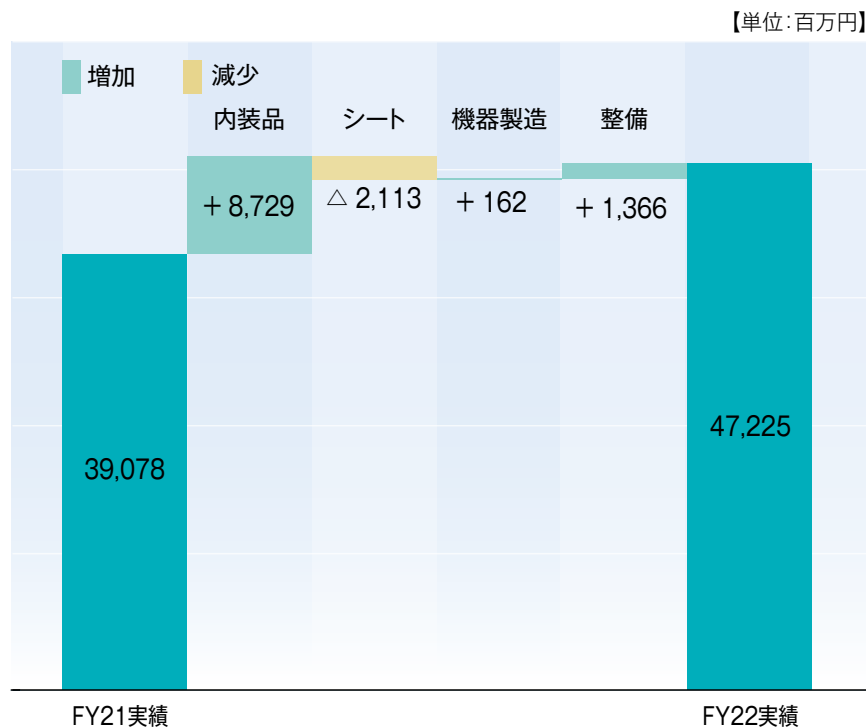
セグメント別 売上高・経常利益-①(前期比/計画比) 

【単位:百万円】

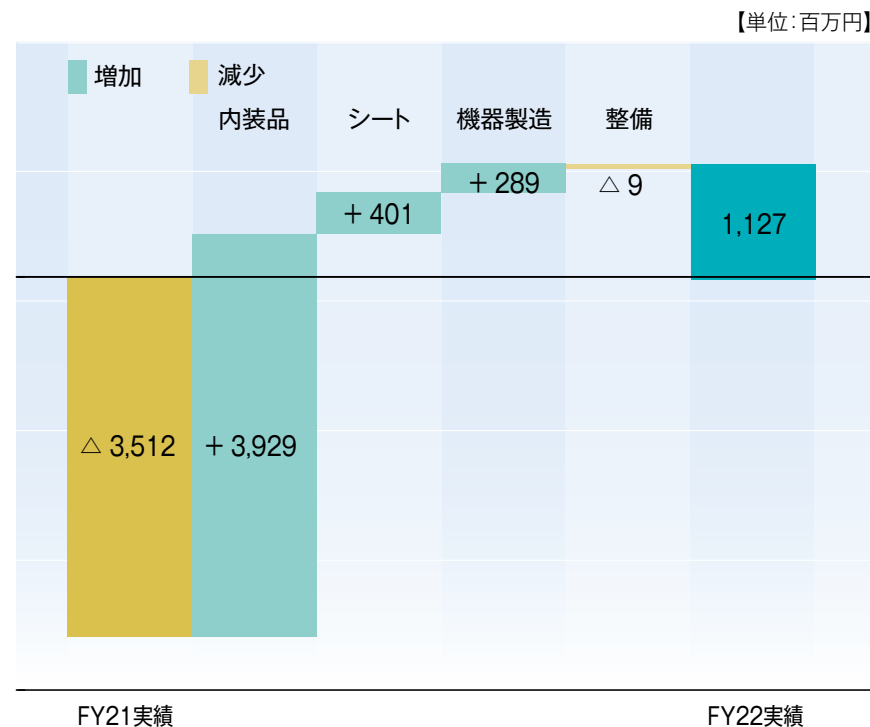
	売上高					経常利益				
	FY21 (実績)	FY22 (計画)	FY22 (実績)	前期比 (増減)	計画比 (増減)	FY21 (実績)	FY22 (計画)	FY22 (実績)	前期比 (増減)	計画比 (増減)
航空機内装品	20,884	30,000	29,614	8,729	△ 385	△ 342	3,820	3,586	3,929	△ 233
航空機シート	5,982	4,900	3,869	△ 2,113	△ 1,030	△ 3,109	△ 2,100	△ 2,708	401	△ 608
航空機器製造	4,913	5,600	5,075	162	△ 524	△ 204	50	85	289	35
航空機整備	7,297	9,000	8,663	1,366	△ 336	180	90	170	△ 9	80
その他	0	0	2	1	2	△ 35	0	△ 6	28	△ 6
合計	39,078	49,800	47,225	8,146	△ 2,574	△ 3,512	1,860	1,127	4,639	△ 732

(注)「その他」はオレンジジャムコの事業を含んでおります

売上高



経常利益



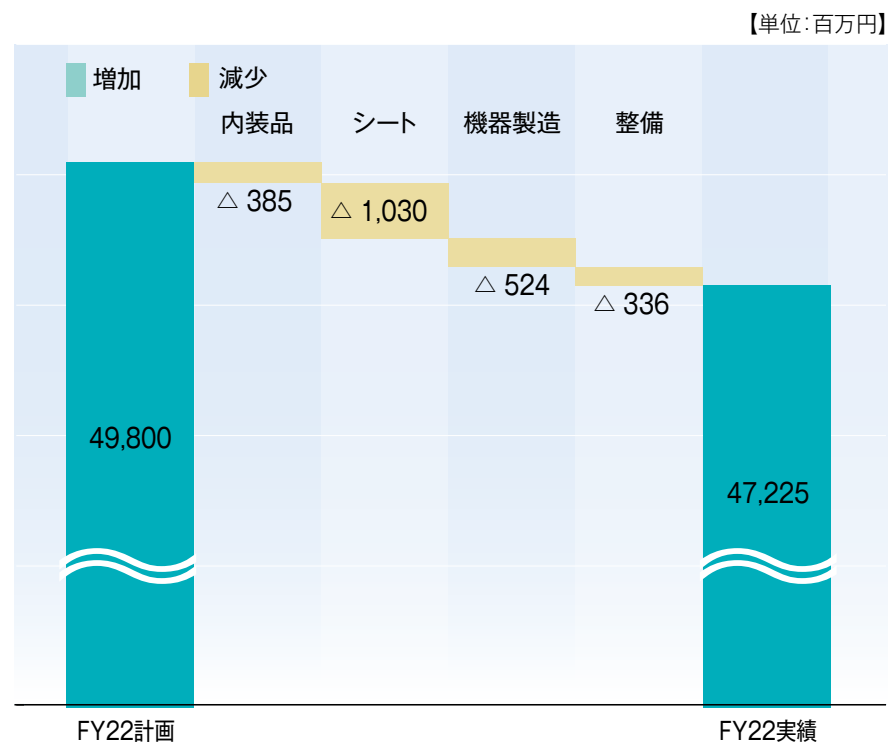
Point

- 内装品は、運航機数の増加によりエアライン向けスペアパーツ販売が増加したことやボーイング 787 型機向け製品の出荷が再開したことなどから増加
- シートは、ビジネスクラス・シート「Venture」の出荷が開始されたものの、顧客による納期変更などにより減少
- 機器製造は、炭素繊維構造部材の出荷が増加
- 整備は、部品整備において一部プログラムの完成工事が増加

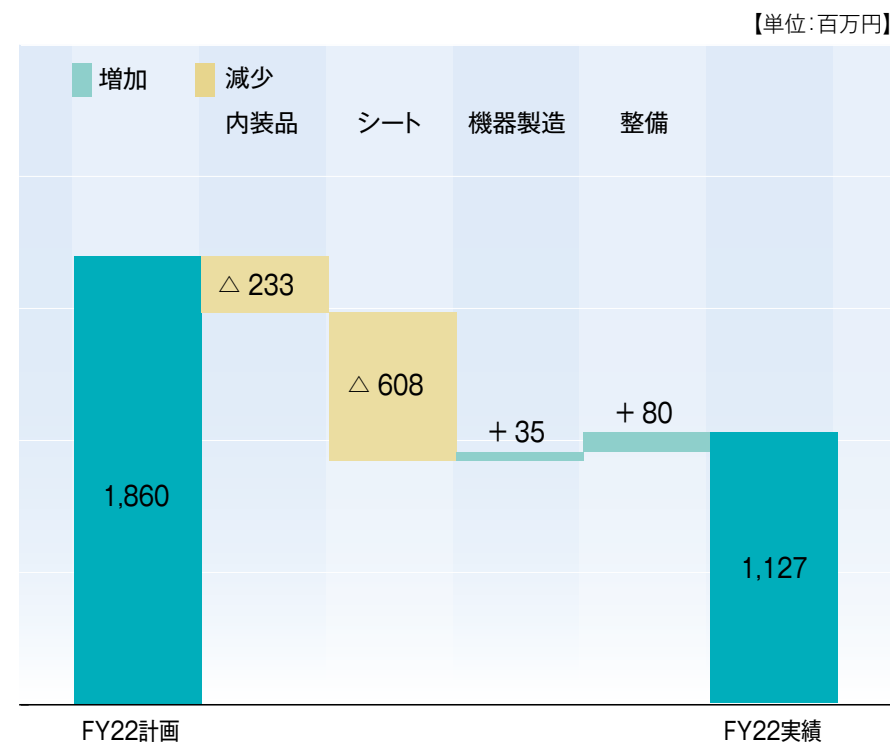
Point

- 内装品は、売上高の増加に加え、業務効率改善の効果、及び円安による為替差益の発生などから増加
- シートは、売上高の減少に加え、円安によるドル建てコストの上昇などにより経常損失となるが、経常損益は改善
- 機器製造は、売上高の増加に加え、採算性向上活動への取組などから経常損益は改善
- 整備は、売上高は増加したものの、販売費および一般管理費が増加したことなどから減少

売上高



経常利益



Point

- 内装品及びシートは、顧客による納期変更などから減少
- 機器製造及び整備は、一部プログラムの出荷が翌期に繰り延べられたことなどにより減少

Point

- 内装品及びシートは、売上高の減少に加え、一部調達品の価格上昇により減少
- 機器製造及び整備は、採算性向上活動への取組などから改善

【単位:百万円】

科目	FY21 末 2022年3月31日現在	FY22 末 2023年3月31日現在	増減
〈資産の部〉			
流動資産			
現金及び預金	9,276	8,334	△ 941
受取手形、売掛金及び契約資産	19,199	17,615	△ 1,584
棚卸資産	40,746	48,732	7,986
その他流動資産	2,049	2,639	589
流動資産合計	71,271	77,321	6,050
固定資産			
有形固定資産	12,425	11,590	△ 835
無形固定資産	1,282	1,807	525
投資その他の資産	8,671	10,074	1,403
固定資産合計	22,379	23,472	1,092
資産合計	93,651	100,794	7,143

科目	FY21 末 2022年3月31日現在	FY22 末 2023年3月31日現在	増減
〈負債の部〉			
流動負債			
支払手形及び買掛金	4,248	4,719	470
電子記録債務	2,665	2,997	332
短期借入金	48,156	50,022	1,866
1年内返済予定の長期借入金	960	1,060	100
前受金	6,241	8,374	2,133
工事損失引当金	3,828	4,280	451
その他流動負債	4,807	5,577	769
流動負債合計	70,908	77,032	6,123
固定負債			
長期借入金	2,310	1,250	△ 1,060
その他固定負債	9,337	9,128	△ 208
固定負債合計	11,647	10,378	△ 1,268
負債合計	82,556	87,411	4,855
〈純資産の部〉			
純資産合計	11,095	13,383	2,288
負債及び純資産合計	93,651	100,794	7,143

Point

- 受取手形及び売掛金は、売掛金の回収により減少
- 棚卸資産は、出荷が翌期以降に繰り延べられたことなどから増加

- 自己資本比率 11.5%→12.9%

【単位:百万円】

	FY21	FY22
営業活動によるキャッシュ・フロー	6,801	87
投資活動によるキャッシュ・フロー	△ 646	△ 1,025
フリー・キャッシュ・フロー	6,155	△ 938
財務活動によるキャッシュ・フロー	△ 2,570	△ 705
現金及び現金同等物の期末残高	8,174	6,958

Point

- 営業活動によるキャッシュ・フローは、棚卸資産の増加があったものの、税金等調整前当期純利益の増加などによりキャッシュインフロー

【単位:百万円】

	当社	新潟 ジャムコ	宮崎 ジャムコ	中条 ジャムコ	ジャムコ アメリカ	ジャムコ エアロデザイン エンジニアリング	ジャムコ シンガポール	ジャムコ フィリピン	ジャムコ エアロ マニュファク チャリング	徳島 ジャムコ	ジャムコ エアロテック	オレンジ ジャムコ
売上高	42,354	2,121	774	628	10,580	490	64	485	869	764	440	120
営業利益	2,340	37	57	49	△ 732	△ 16	△ 6	9	8	39	7	5
経常利益	2,739	33	58	48	△ 1,203	24	△ 11	1	7	40	8	5
当期純利益	2,849	10	51	18	△ 1,403	21	467	△ 7	4	25	3	3

(注)ジャムコシンガポールは、清算手続き中

2023年度中期経営計画及び 当社のサステナビリティへの取組

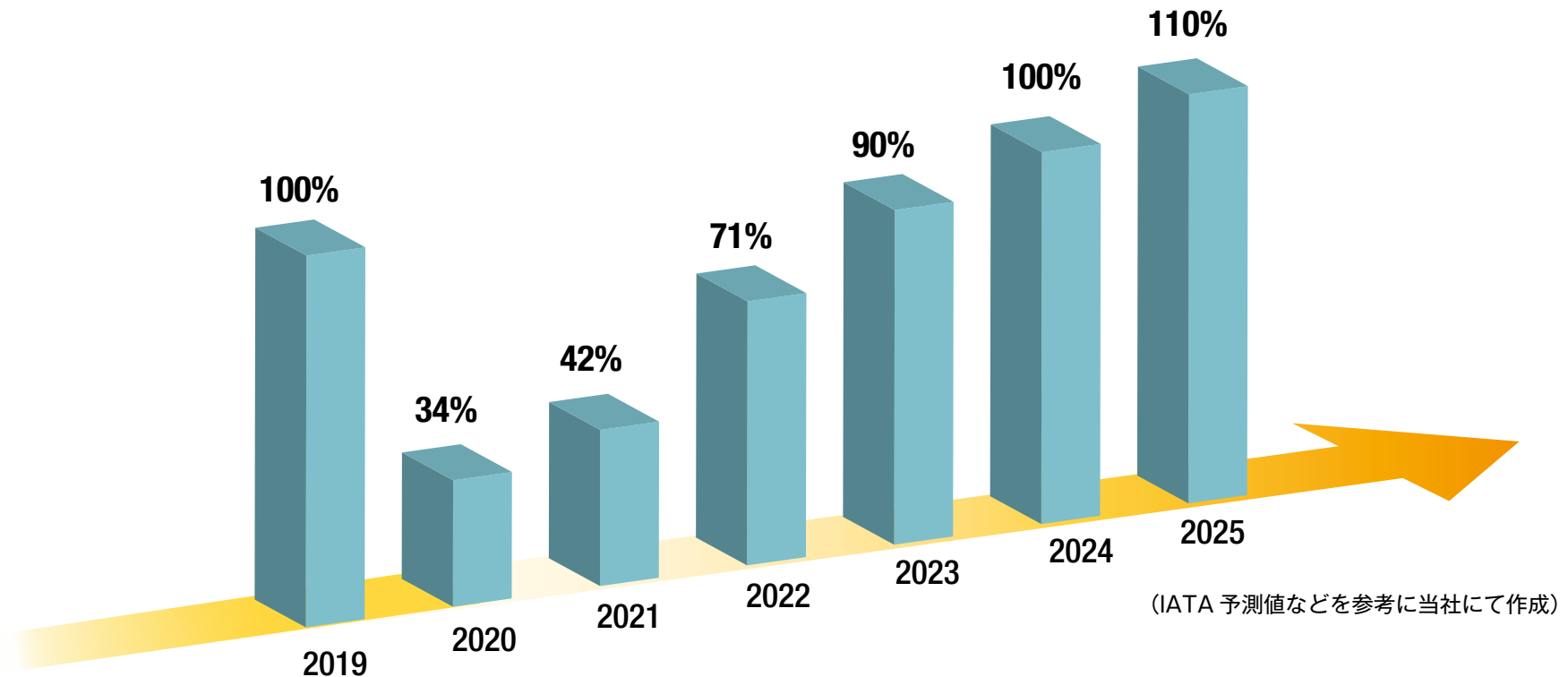
- 14 | 2023年度中期経営計画策定の前提
- 15 | 2023年度中期経営計画
- 16 | 業績見通しについて
- 17 | 経営環境
- 18 | 事業別見通し(航空機内装品 セグメント)
- 19 | 事業別見通し(航空機シート セグメント)
- 20 | 事業別見通し(航空機器製造 セグメント)
- 21 | 事業別見通し(航空機整備 セグメント)
- 22 | 中期経営指標
- 23 | サステナビリティへの取組-①
- 24 | サステナビリティへの取組-②
- 25 | サステナビリティへの取組-③

SECTION

2

- IATA(国際航空輸送協会)の予測などをベースに航空旅客需要を予測。
 - 2023年度は、2019年度の9割程度の需要。
 - コロナ禍以前の規模に需要が回復するのは2024年頃。
- 航空機メーカーの新造機生産は、2023年度以降段階的な増産。

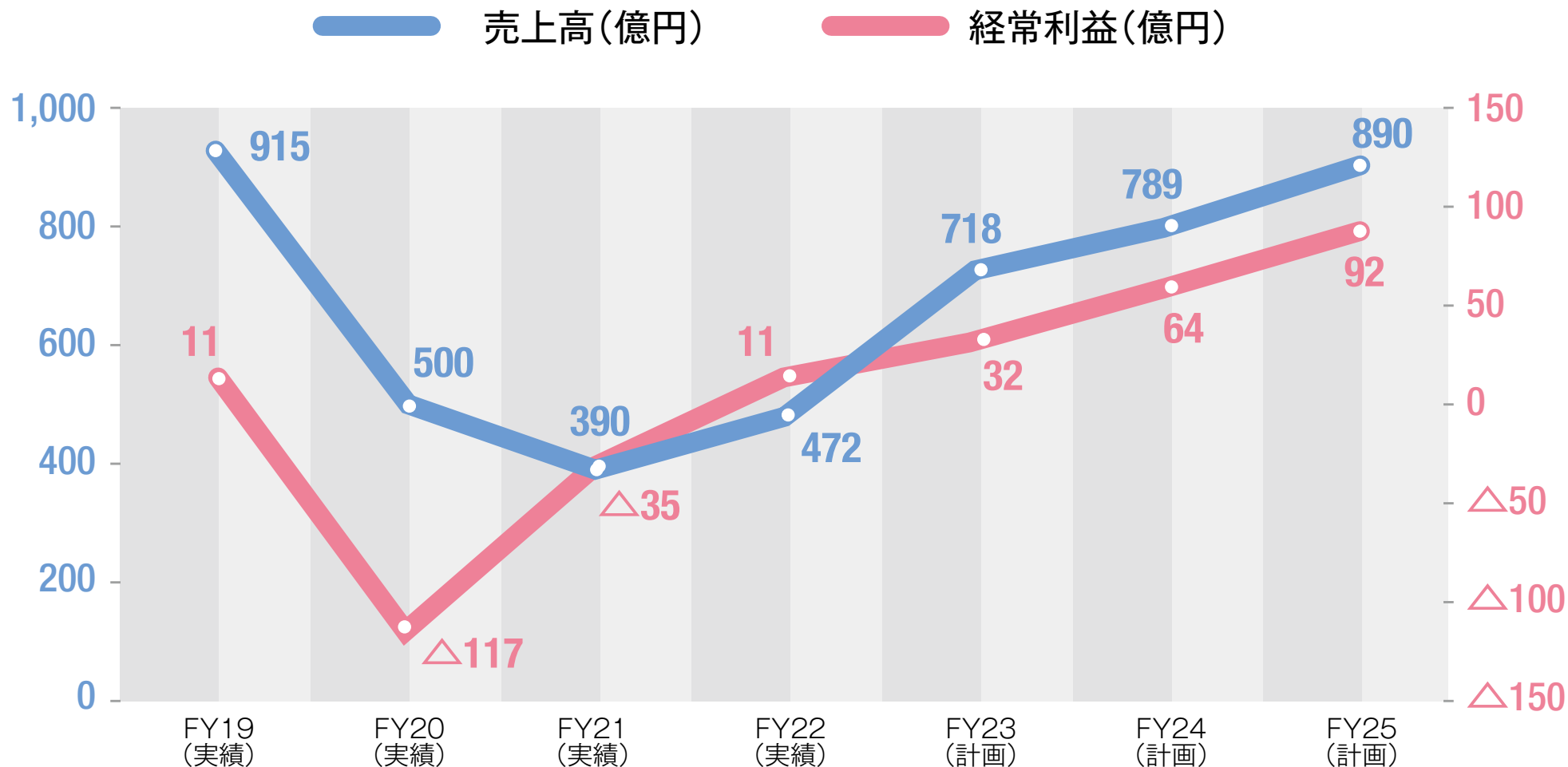
2019年度を100%とした航空旅客需要の回復イメージ



【単位:百万円】

	FY22 (実績)	FY23 (計画)	FY24 (計画)	FY25 (計画)
売上高	47,225	71,800	78,900	89,000
売上総利益	10,072	14,730	19,150	22,740
販管費	8,339	9,730	11,000	11,730
営業利益	1,733	5,000	8,150	11,010
営業外損益	△ 606	△ 1,800	△ 1,740	△ 1,740
経常利益	1,127	3,200	6,410	9,270
特別損益	467	0	0	0
税金等調整前当期純利益	1,594	3,190	6,410	9,270
親会社株主に帰属する 当期純利益	2,174	2,280	4,610	6,640
売上為替レート (円/USドル)	135.08	130.00	130.00	130.00
連結総資産	100,794	100,840	102,070	106,860
営業キャッシュフロー	87	3,950	8,770	6,690

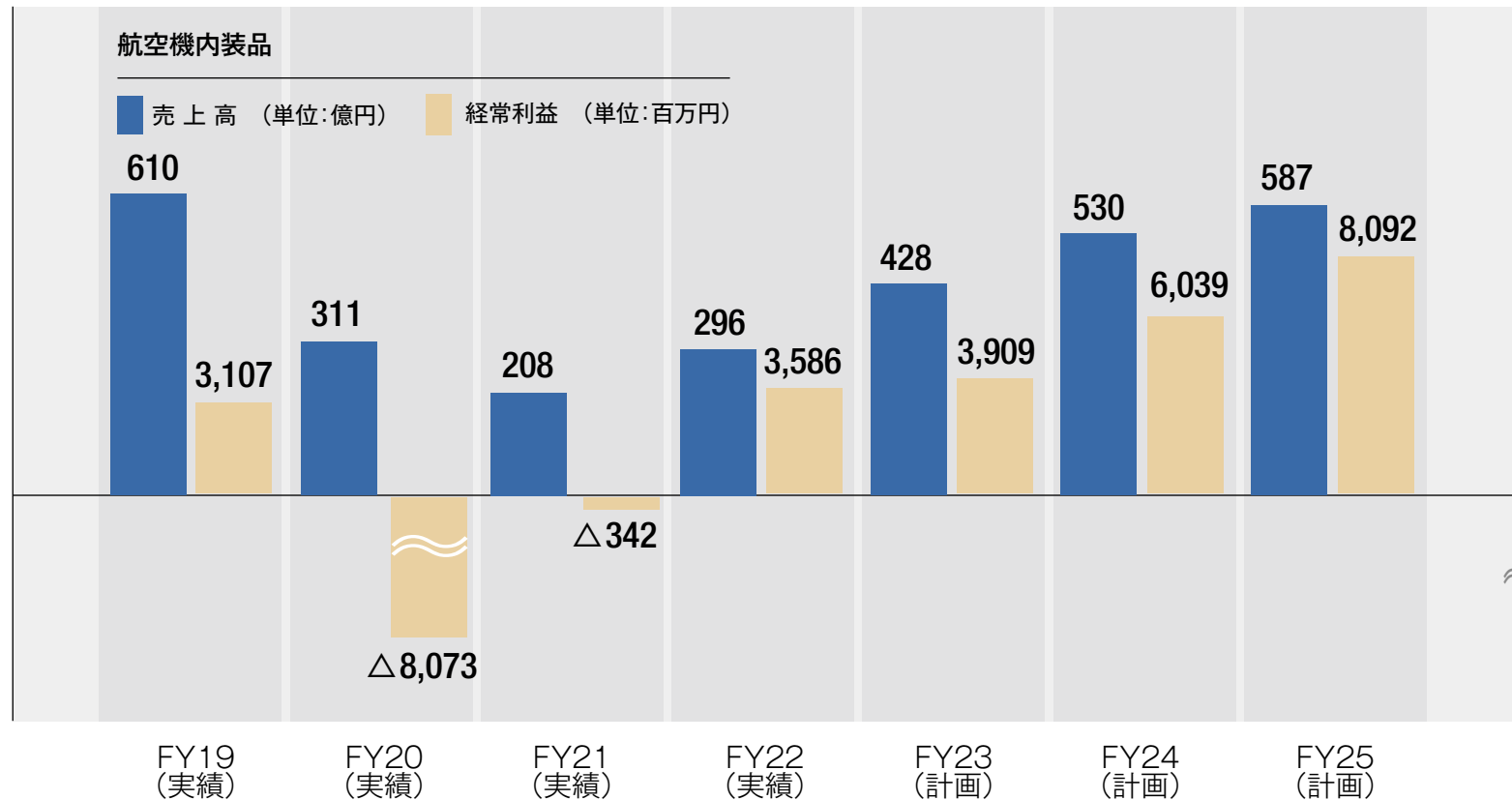
業績見通しについて



- 航空輸送業界は、2023年度も新型コロナウイルス感染症の影響から堅調な回復が見込まれ、2024年にはパンデミック前の水準まで回復すると予測されているが、一方でウクライナ情勢、物価・人件費の高騰、急速な金融引き締めによる経済後退の懸念もあり、引き続き注視が必要。
- 航空旅客需要は、2041年までの20年間において年平均3.8%で成長し、同期間で41,170機の新造機が製造（うち単通路30,880、ワイドボディ7,230）され、運航機数は2019年の25,900機から47,080機へと約80%増加、安定した成長が見込まれている（Boeing社調べ）。
- 新型コロナウイルス感染症による急激な需要縮小により、航空関連業界のサプライチェーンは著しく棄損。この結果、市場回復にも関わらず、人財不足が発生。
- 企業の財務情報だけでなく、ESGに関する情報開示も重要な指標となっており、ESG/SDGsへの取組強化が求められている。
- 為替変動に関しては、一時1ドル150円台まで進行したものの、その後は130円台半ばまで急騰。短期間で非常に大きく変動している。
- 経営環境は急速に変化し続けており、予測不可能な状況を乗り越えるには、より機動的な企業変革や意識改革が求められる。

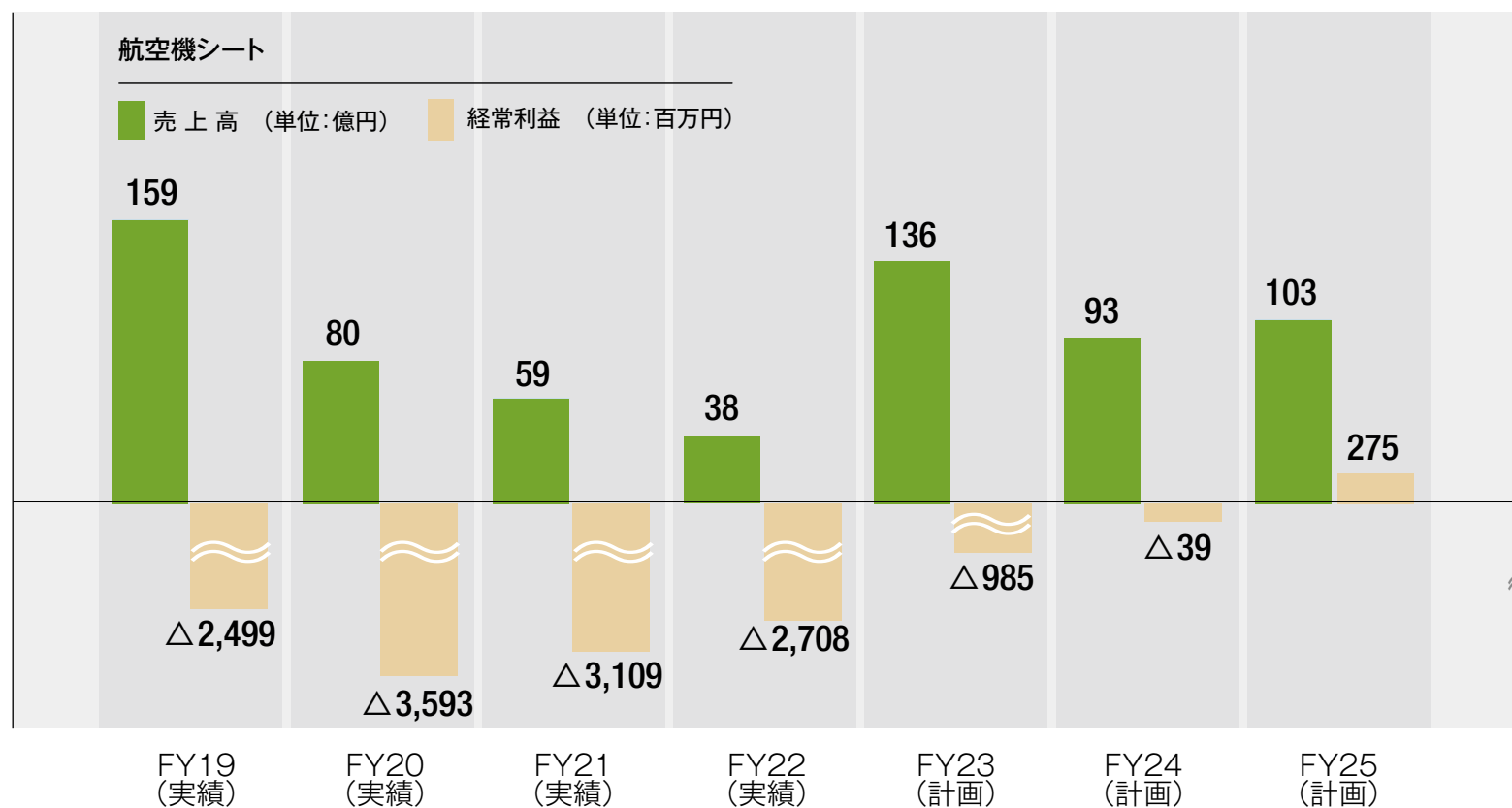
事業別見通し(航空機内装品セグメント)

- United, Air Indiaによるワイドボディ機の大量発注に伴う増産
- Boeing 787 は、現行の月産3機から2025年に月産10機へ増産対応
- 運航機数増加による スペアパーツ販売増加



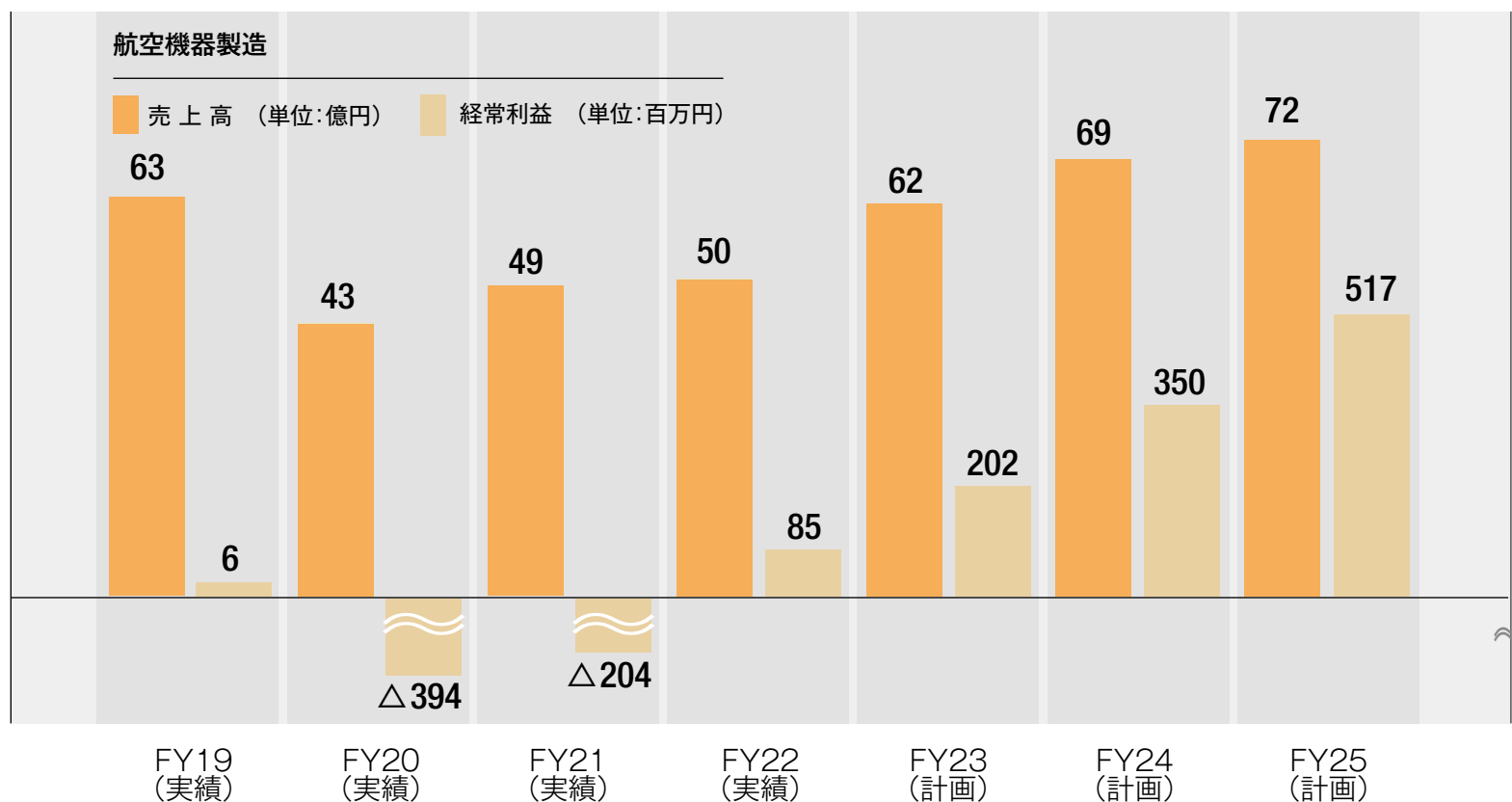
事業別見通し(航空機シートセグメント)

- 開発・生産拠点の再構築を含むシート事業戦略の確実な遂行と事業構造の見直し
- Venture/Quest for Eleganceをボーイング777/787、エアバスA350を中心に展開

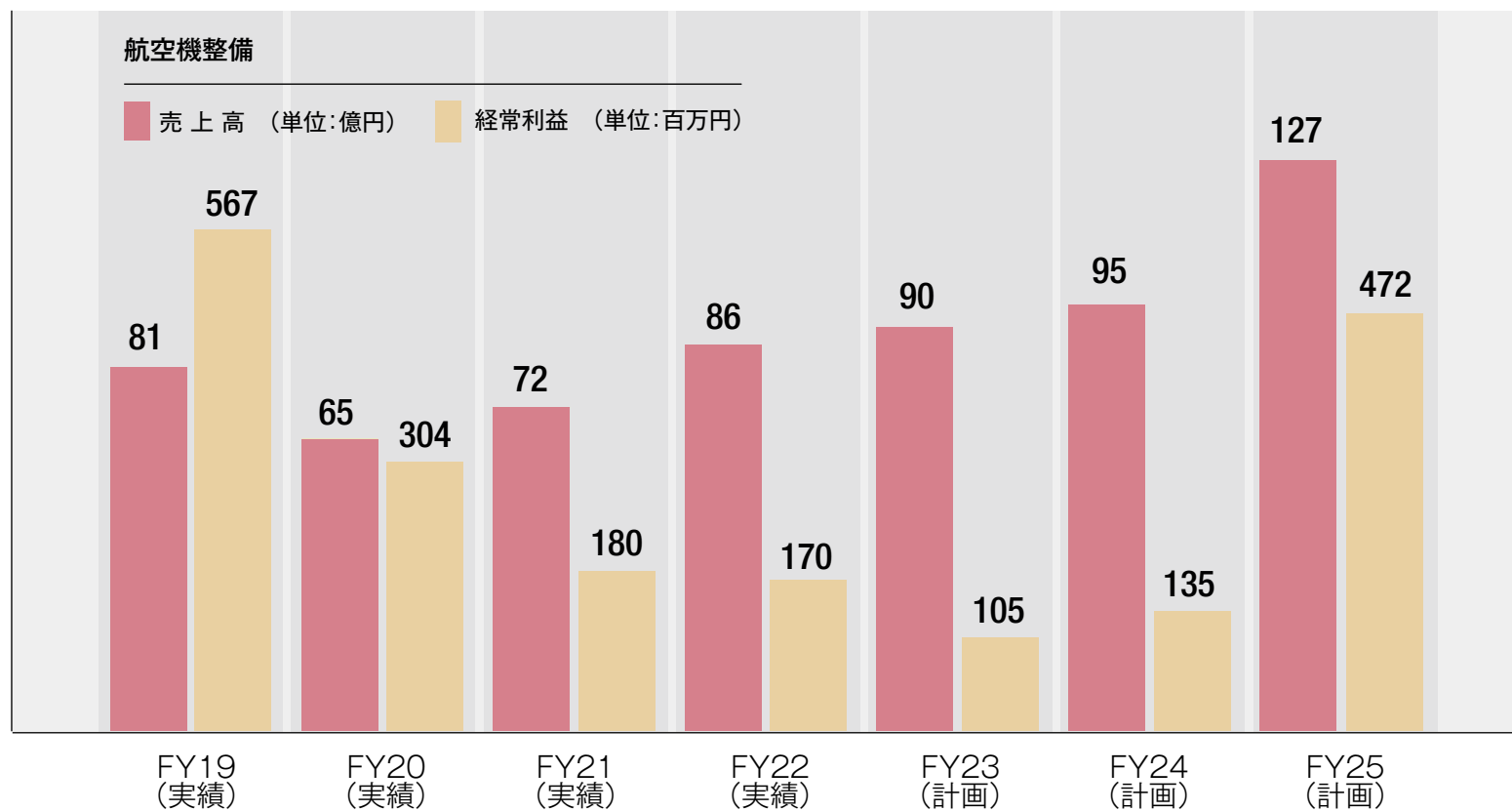


事業別見通し(航空機器製造セグメント)

- 生産拠点の最適化及びDX推進によるスマートファクトリー化
- CFRPの製品開発及び特殊工程技術を活用した新領域への事業展開



- 官需・民需のバランスを踏まえた事業拡大
- ドローンやeVTOL等の次世代エアモビリティ事業への参画



- **収益性指標** : **連結経常利益率 7% 以上**
- **効率性指標** : **連結ROA 7%以上**
- **安全性指標** : **自己資本比率 30%以上**
- **配当方針** : **連結配当性向 20~30%**

ジャムコグループは、サステナビリティ活動を経営理念の実現に向けた重要課題として捉え、次のような方針を掲げて取り組んでいます。

サステナビリティについての基本方針

ジャムコグループは、自然との共生をはかり、企業活動を通じて人々の幸せと豊かな社会づくりを追求し、世界の持続的な発展に貢献していきます。

- グローバル社会が直面する地球環境問題をはじめとした様々な課題に挑戦します。
- 地球温暖化の問題を喫緊の課題と認識し、あらゆる環境負荷低減施策に取り組めます。
- 事業環境の変化を新たな成長の機会と捉え、より安全で安心な製品・サービスの提供を通じて持続可能な社会づくりと企業価値の向上を目指します。

ジャムコグループでは、Jamco Vision 2030の戦略の柱のひとつであるサステナビリティ・トランスフォーメーション推進プログラムを開始して、ESGやSDGsの課題への取組を強化しました。

2022年度は、喫緊の課題である気候変動への対応を最優先に、カーボンニュートラル実現に向けた取組を進めました。

ジャムコグループのGHG排出量算定

CDP^{※1}気候変動質問書への回答 評価結果ランクアップ  Your CDP score   3ランクアップ

TCFD^{※2}提言の要求項目への対応

サステナビリティに関する重要課題(マテリアリティ)の選定

- ※ 1 CDPは2000年にロンドンで設立した非営利団体(旧称:カーボン・ディスクロージャー・プロジェクト)です。気候変動、水セキュリティ、森林減少リスク・コモディティの分野における、企業や自治体のグローバルな情報開示基盤を提供し、収集した情報は投資家や企業、各国政府に活用されています。
- ※ 2 「気候変動関連財務情報開示タスクフォース(Task Force on Climate-related Financial Disclosures)」の略称で、G20財務大臣・中央銀行総裁会議の要請を受け、2015年12月に金融安定理事会(FSB)により、気候関連の情報開示及び気候変動への金融機関の対応を検討するために設立されました。



当社では、従業員一人ひとりが最も重要な経営資源であり、従業員の成長こそが会社の持続的発展に繋がるという考え方にに基づき、様々な制度を採り入れて計画的に人的資本への投資を行なっています。

- 人財育成では、基礎的な能力開発、グローバル人財の基礎となる英語力の向上、自己啓発やスキル向上などに資する教育訓練などを準備し、支援しています。
- キャリア・ディベロップメント・プログラムを採用し、キャリア・ローテーション制度にて多様なキャリアや経験を踏ませ、幅広い視野で物事を捉え、考え、判断できる、組織の要である管理職、次代を担うリーダーやスペシャリストを育成しています。
- 個の能力開発と共に、組織幹部の計画的な育成に資する「サクセッションプラン」を策定し、将来に向けた組織づくりにも取り組んでいます。

2023年3月期 決算説明会 添付資料

- 27 | 企業グループ概要
- 28 | 事業概要-① 航空機内装品製造事業
- 29 | 事業概要-② 航空機シート製造事業
- 30 | 事業概要-③ 航空機器製造事業
- 31 | 事業概要-④ 航空機整備事業
- 32 | 事業概要-⑤ 国内関連会社
- 33 | 事業概要-⑥ 海外関連会社
- 34 | 航空機メーカーの受注残
- 35 | 新型旅客機の開発・生産状況
- 36 | ボーイング・エアバスの受注・納入状況
- 37 | ボーイングの受注・納入状況(2022年1月～12月累計)
- 38 | エアバスの受注・納入状況(2022年1月～12月累計)
- 39 | 製品・サービスの紹介
- 40 | 主要な経営指標等の推移(単体&連結)

企業グループ概要



事業概要-①

航空機内装品製造事業

航空機用ラバトリー(化粧室)の製造

- ボーイング747-8・767・777・777-9・787向けラバトリーを独占供給



航空機用ギャレー(厨房設備)の製造

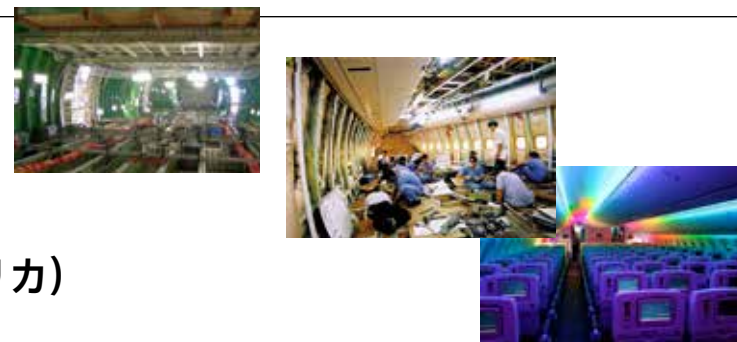
- ボーイング747-8・767・777・777-9・787・737に搭載
- エアバスA380・A330・A340・A320に搭載
- 世界の航空会社約100社へ納入
- 787向けギャレーを独占供給
- ギャレーとラバトリーが一体となったA350向けICE (Increased Cabin Efficiency) リヤギャレーを供給



A350ICEリヤギャレー
(写真提供:エアバス社)

航空機改修事業

- 客室内装備品の新規搭載、配置換え、設計、プロジェクトの管理、取付用部品の製造と認証取得
- アメリカ連邦航空局 (FAA) よりODA認定を取得 (ジャムコアアメリカ)
FAAに代わって航空機客室改造の追加型式証明の発行が可能
- 欧州航空安全庁 (EASA) より設計認証 (DOA) を取得 (ジャムコエアロデザイン&エンジニアリング)



航空機シート製造事業

航空機用シートの製造

- **ボーイング787向けプレミアムクラスシート**
ビジネスクラスシート(商品名Venture)
KLMオランダ航空、エア・ヨーロッパ航空、ZIP AIR 他



Quest for Elegance

- **シンガポール航空向けファースト、ビジネスクラスシート**
ボーイング777用ファースト、ビジネスクラスシート
エアバスA350用/A380用ビジネスクラスシート

Venture



CMF designed by mormedi

- **ANA社向けファーストクラスシート**
ボーイング777用ファーストクラスシート
エアバスA380用ファーストクラスシート



シンガポール航空提供

- **JAL社向けファーストクラスシート**
ボーイング787用ファーストクラスシート
エアバスA350用ファーストクラスシート



航空機器製造事業

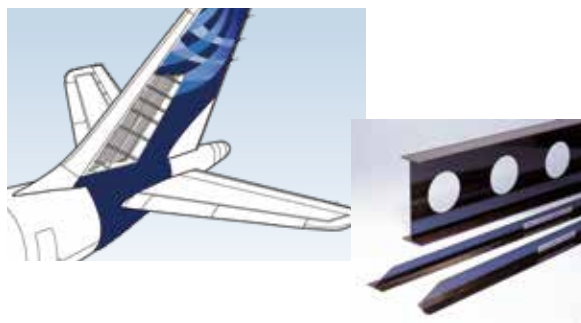


**熱交換器等航空宇宙装備品及び
各種航空機搭載機器の製造**



ジェットエンジン部品の製造

- 低圧タービンシュラウド、クーリングマニフォールド
- エンジン用配管



航空機用炭素繊維構造部材の製造

- エアバスA350を除くエアバス機の垂直尾翼構造部材
- エアバスA350貨物室床下構造材、後部圧力隔壁用一次構造部材
- ADP製法の特性を活かし、建物の新築・改築工事など新たな事業領域での展開

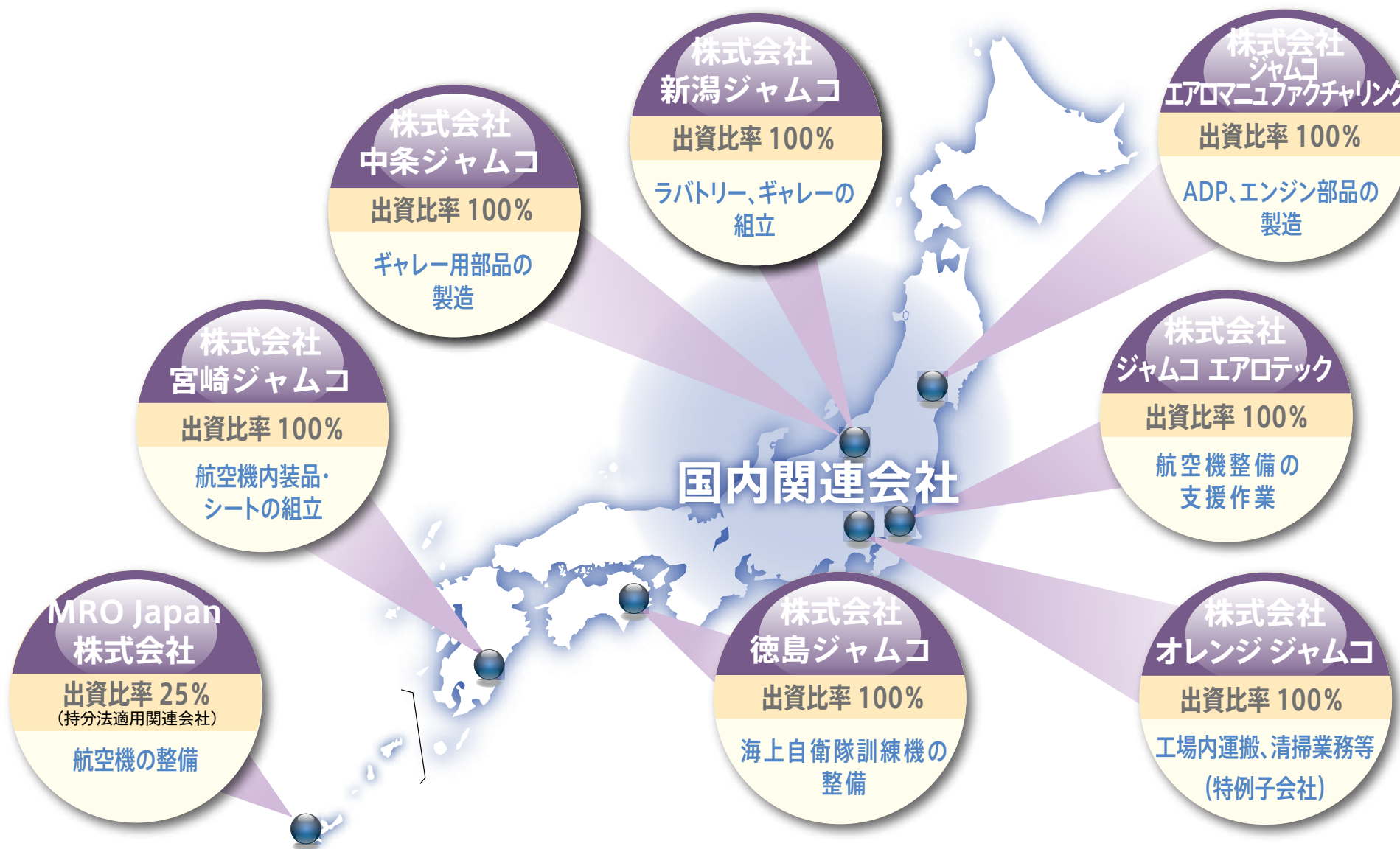
航空機整備事業

防衛省、海上保安庁、航空大学校、各自治体、
エアラインなどの航空機、装備品整備事業

- 中型・小型航空機及びヘリコプターの整備・改造
- リージョナル機の整備
- 大型旅客機の車輪、客室装備品、脱出スライドの整備
- ヘリコプターレスキューホイストの整備
- 航空機用高圧ガス容器の整備



事業概要-⑤



(注)出資比率はグループ出資比率

事業概要-⑥



(注)出資比率はグループ出資比率

航空機メーカーの受注残

ボーイング社の受注残機数

狭胴機 3,654 機 (前年同期 3,414機)

広胴機 925 機 (前年同期 836機)

エアバス社の受注残機数

狭胴機 6,620 機 (前年同期 6,314機)

広胴機 617 機 (前年同期 766機)

2022年12月末時点

出所：ボーイング社 HP、エアバス社 HP

新型旅客機の開発・生産状況

■ 787の生産状況

- 2023年3月末日現在、受注残機数は522機
- 生産レートは、2023年に月産5機、2025年、2026年には月産10機を予定。

■ 777-9の開発状況

- 商用飛行開始が2025年予定
- 2023年3月末日現在、777と合わせた受注残機数は328機、2025年、2026年には月産4機を予定。

■ 737シリーズの生産状況

- 2023年3月末日現在、受注残機数は3,585機
- 生産レートは、2023年には月産38機、2025年、2026年には月産50機を予定。

■ A350XWBの生産状況

- 2023年3月末日現在、受注残機数は441機
- 生産レートは、2025年末に向けて月産6機から9機へ。

■ A330neoの生産状況

- 2023年3月末日現在、受注残機数は209機
- 生産レートは、2024年末までに月産3機から月産4機へ。

■ A320ファミリーneoの生産状況

- 2023年3月末日現在、受注残機数は6,604機
- 生産レートは、2024年末までに月産65機へ遡増。

出所：ボーイング社 HP、エアバス社 HP 等

ボーイング・エアバスの受注・納入状況

(2022年1月～12月累計)

納入状況

●エアバス社

58.1%
(663機)

●ボーイング社

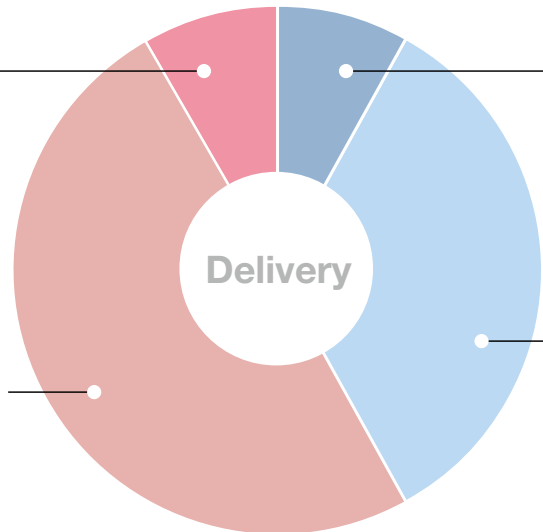
41.9%
(479機)

広胴機
8.2%
(94機)

広胴機
8.2%
(93機)

狭胴機
49.8%
(569機)

狭胴機
33.8%
(386機)



受注残状況

●エアバス社

61.3%
(7,237機)

●ボーイング社

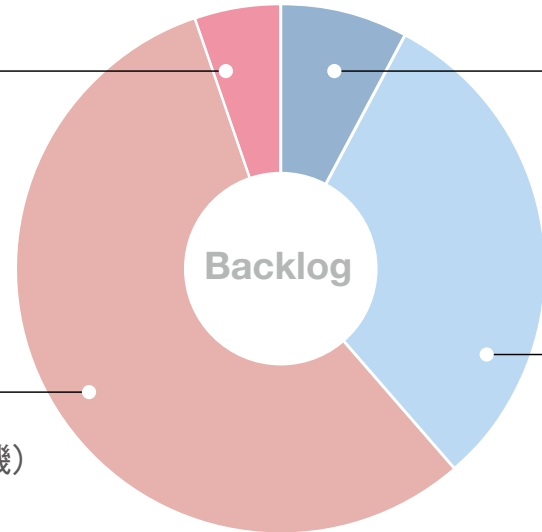
38.7%
(4,579機)

広胴機
5.2%
(617機)

広胴機
7.8%
(925機)

狭胴機
56.0%
(6,620機)

狭胴機
31.0%
(3,654機)



出所：ボーイング社 HP、エアバス社 HP

ボーイングの受注・納入状況

(2022年1月～12月累計)

	受 注	納 入	受 注 残
ボーイング合計	808	479	4,579
747	0	5	1
777	26	24	313
787	125	31	505
767	31	33	106
737	626	386	3,654

(注1) ■色の機種は広胴機(ワイドボディー機)を示す。

(注2) 受注は正味受注機数を示す。

出所：ボーイング社 HP

エアバスの受注・納入状況

(2022年1月～12月累計)

	受 注	納 入	受 注 残
エアバス合計	820	663	7,237
A380	0	0	0
A350	10	62	404
A330/A340	△ 65	32	213
A320ファミリー	770	516	6,093
A220ファミリー	105	53	527

(注1) ■色の機種は広胴機(ワイドボディー機)を示す。

(注2) 受注は正味受注機数を示す。

出所：エアバス社 HP

製品・サービスの紹介

AIRCRAFT INTERIORS

内装品



(写真提供:エアバス社)
A350ICEリヤギャレー



ギャレー



フライトデッキ内装



ラバトリー



バーユニット

スティームオープン

AIRCRAFT SEAT

シート



Quest for Elegance



CMF designed by mormedi
Venture



Venture

AIRCRAFT COMPONENTS

機器製造



ヒートエクスチェンジャー
(チューブタイプ)



エンジン部品



ブリクローラ



ADP製法のCFRP部材



電子機器搭載用シャーシ

AIRCRAFT MAINTENANCE

整備



中・小型機の整備、改造



各種装備品の整備

「主要な経営指標等の推移」(単独&連結)

2023/5/24

回次	第74期	第75期	第76期	第77期	第78期	第79期	第80期	第81期	第82期	第83期
事業年度	平成25年度	平成26年度	平成27年度	平成28年度	平成29年度	平成30年度	令和元年度	令和2年度	令和3年度	令和4年度
決算年月	平成26年3月	平成27年3月	平成28年3月	平成29年3月	平成30年3月	平成31年3月	令和2年3月	令和3年3月	令和4年3月	令和5年3月
決算年月(西暦)	14/3	15/3	16/3	17/3	18/3	19/3	20/3	21/3	22/3	23/3
受注高(千円)	64,614,722	90,652,812	74,841,109	75,695,946	74,644,363	78,145,931	65,565,185	21,769,033	43,468,592	66,969,864
売上高(千円)	57,781,450	68,610,585	78,948,834	68,271,976	66,183,622	76,447,669	83,528,487	46,724,909	36,592,074	42,354,835
営業損益(千円)	5,871,734	6,188,816	7,245,332	2,231,020	2,979,866	3,104,061	1,707,688	▲9,446,049	▲1,845,781	2,340,411
経常損益(千円)	6,264,568	7,683,432	6,549,822	1,673,870	2,309,708	2,537,842	1,580,574	▲10,009,939	▲2,099,848	2,739,275
当期純損益(千円)	3,877,394	4,760,719	4,138,989	1,285,351	1,576,467	2,034,592	1,039,041	▲11,582,019	▲5,413,399	2,849,155
資本金(千円)	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893	5,359,893
期中平均発行株式数(株)	26,825,601	26,825,468	26,825,392	26,825,267	26,825,217	26,825,183	26,825,072	26,825,040	26,825,010	26,824,969
期末発行済株式総数(株)	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974
自己株式数(株)(期末日現在の実質数)	38,444	38,551	38,635	38,730	38,762	38,832	38,932	38,964	38,964	39,089
純資産額(千円)	19,250,958	22,966,513	26,152,914	26,312,122	27,836,077	29,300,161	29,690,551	17,623,722	10,590,061	13,445,718
ROE(株主資本当期純利益率)(資本は期首&期末の平均)	22.24%	22.94%	16.85%	4.90%	5.82%	7.12%	3.52%	-48.96%	-38.37%	23.70%
総資産額(千円)	58,978,004	70,710,607	72,509,966	77,835,781	82,016,116	91,132,873	106,949,584	92,594,106	85,835,933	93,758,223
ROA(総資産経常利益率)(資産は期首&期末の平均)	11.22%	11.85%	9.15%	2.23%	2.89%	2.93%	1.60%	-10.03%	-2.35%	3.10%
1株当たり純資産額(円)(期末純資産÷期末発行済株式数)*(注)	717.64	856.15	974.93	980.87	1,037.68	1,092.26	1,106.82	656.99	394.78	501.24
1株当たり配当額(円)	15.00	35.00	40.00	10.00	20.00	20.00	20.00	0.00	0.00	0.00
1株当たり当期純損益(円)(株数は期中平均株式数)*(注)	144.54	177.47	154.29	47.92	58.77	75.85	38.73	▲431.76	▲201.80	106.21
自己資本比率(期末比)	32.64%	32.48%	36.07%	33.80%	33.94%	32.15%	27.76%	19.03%	12.34%	14.30%
決算日又は、前直近日の株価(円/1株)	1,925	3,665	2,816	2,475	2,242	2,314	701	1,010	809	1,496
株価収益率(倍)(決算日株価÷1株利益)	13.32	20.65	18.25	51.65	38.15	30.51	18.10	▲2.34	▲4.01	14.09
配当金(千円)	402,382	938,889	1,073,013	268,252	536,504	536,502	536,500	0	0	0
配当性向(1株配当金/1株当期利益)	10.38%	19.72%	20.87%	20.87%	34.03%	26.37%	51.63%	0.00%	0.00%	0.00%
株主資本配当率(DOE=Dividend on equity ratio)	2.31%	4.45%	4.37%	1.02%	1.98%	1.88%	1.82%	0.00%	0.00%	0.00%
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	2,521,252	3,765,734	6,177,029	▲896,879	▲599,406	6,706,055	▲9,592,851	▲10,279,662	7,969,196	2,065,542
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	▲1,918,364	▲3,844,933	▲3,052,511	▲2,348,081	▲2,369,209	▲1,639,551	▲2,260,587	▲2,556,145	▲4,698,744	▲3,694,415
フリー・キャッシュ・フロー(千円)	602,888	▲79,198	3,124,518	▲3,244,961	▲2,968,616	5,066,513	▲11,853,438	▲12,835,807	3,270,452	▲1,628,873
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	▲1,073,676	961,933	▲3,158,782	2,421,079	3,100,700	▲3,652,797	13,624,872	11,710,723	316,515	▲580,569
従業員数(人:年間平均)	1,231	1,309	1,292	1,307	1,303	1,305	1,194	1,224	1,150	1,106
Price Book-value Ratio(株価純資産倍率=株価÷1株当り純資産)	2.682	4.280	2.888	2.523	2.160	2.118	0.633	1.537	2.049	2.984

受注高(千円)	73,532,493	90,871,566	93,850,656	102,624,817	84,764,490	84,899,922	72,242,951	23,569,434	46,774,995	74,471,357
売上高(千円)	64,914,975	76,944,422	91,561,076	81,834,495	77,791,842	84,068,168	91,535,360	50,058,297	39,078,732	47,225,426
営業損益(千円)	4,288,953	6,783,883	8,793,644	2,132,004	4,466,160	4,321,331	1,807,573	▲10,902,382	▲3,174,854	1,733,668
経常損益(千円)	4,539,132	7,827,976	8,245,691	1,285,942	3,504,111	3,290,356	1,178,069	▲11,756,984	▲3,512,068	1,127,327
当期純損益(千円)	2,721,435	4,795,131	5,169,843	1,014,504	1,681,574	1,910,717	605,832	▲13,585,900	▲4,081,368	2,174,205
期末発行済株式総数(株)	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974	26,863,974
自己株式数(株)(期末日現在の実質数)	38,444	38,551	38,635	38,730	38,762	38,832	38,932	38,964	38,964	39,089
純資産額(千円)(少数株主持分を含まず)	19,358,465	23,733,419	27,363,884	27,189,544	28,752,312	30,173,524	29,844,970	16,218,511	10,763,757	13,019,960
ROE(株主資本当期純利益率)(資本は期首&期末の平均)	15.01%	22.64%	20.24%	3.72%	6.01%	6.49%	2.02%	-58.99%	-30.25%	18.28%
総資産額(千円)	71,647,843	87,921,898	92,284,339	92,559,772	94,456,929	102,980,852	120,184,545	101,236,868	93,651,107	100,794,618
ROA(総資産経常利益率)(資産は期首&期末の平均)	6.67%	9.81%	9.15%	1.39%	3.75%	3.33%	1.06%	-10.62%	-3.60%	1.16%
1株当たり純資産額(円)(期末純資産÷期末発行済株式数)	721.64	884.74	1,020.08	1,013.58	1,071.84	1,124.82	1,112.58	604.60	401.26	485.37
1株当たり配当額(円)	15.00	35.00	40.00	10.00	20.00	20.00	20.00	0.00	0.00	0.00
1株当たり当期純損益(円)(株数は期中平均株式数)	101.45	178.75	192.72	37.82	62.69	71.23	22.58	▲506.46	▲152.15	81.05
自己資本比率(期末比)	27.02%	26.99%	29.65%	29.38%	30.44%	29.30%	24.83%	16.02%	11.49%	12.92%
決算日又は、前直近日の株価(円/1株)	1,925	3,665	2,816	2,475	2,242	2,314	701	1,010	809	1,496
株価収益率(倍)(決算日株価÷1株利益)	18.98	20.50	14.61	65.44	35.77	32.49	31.04	▲1.99	▲5.32	18.46
配当性向(1株配当金/1株当期利益)	14.79%	19.58%	20.76%	26.44%	31.90%	28.08%	88.56%	0.00%	0.00%	0.00%
株主資本配当率(DOE=Dividend on equity ratio)	2.22%	4.36%	4.20%	0.98%	1.92%	1.82%	1.79%	0.00%	0.00%	0.00%
営業活動によるキャッシュ・フロー(千円)	1,761,667	2,946,905	4,689,721	2,128,814	3,971,369	9,365,287	▲11,285,545	▲11,615,010	6,801,704	87,271
投資活動によるキャッシュ・フロー(千円)	▲2,247,339	▲3,667,146	▲3,857,636	▲3,176,083	▲2,810,912	▲1,944,626	▲2,570,856	▲1,104,616	▲646,182	▲1,025,469
フリー・キャッシュ・フロー(千円)	▲485,672	▲720,241	832,085	▲1,047,269	1,160,457	7,420,661	▲13,856,401	▲12,719,626	6,155,522	▲938,198
財務活動によるキャッシュ・フロー(千円)	▲572,101	2,180,608	▲242,165	▲587,789	▲460,904	▲5,828,422	16,953,530	9,581,488	▲2,570,264	▲705,488
現金及び現金同等物の期末残高	1,589,435	3,050,112	3,479,003	1,772,528	2,399,235	4,046,170	7,167,370	3,946,665	8,174,344	6,958,841
従業員数(人:期末日)	2,406	2,870	3,109	3,440	3,087	3,177	3,465	2,649	2,560	2,579
Price Book-value Ratio(株価純資産倍率=株価÷1株当り純資産)	2.667	4.142	2.760	2.401	2.091	2.057	0.630	1.670	2.016	3.082

期末日為替レート(¥/US\$)	¥102.92	¥120.27	¥112.69	¥112.20	¥106.27	¥111.01	¥108.83	¥110.72	¥122.41	¥133.54
------------------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------	---------

技術を翼に世界の空へ

 **Jamco**
ALWAYS FLY TOGETHER



Always Fly Together